



2 行財政改革推進プラン 2013 で目指すもの

(1) 本プランで目指すもの

少子高齢化の進展や将来の人口減少を見据え、こうしたトレンドを少しでも緩やかにするためには、今後の取組が極めて重要であり、本市の重点プロジェクトである、しあわせ実感都市を実現するための「しあわせ倍増プラン 2013」⁷、選ばれる都市を目指すための「成長戦略」⁸の取組を着実に実施する必要があります。

また、これらの取組の推進にあたっては、市民意見を広く聴取し、常に市民目線に立ち、市民満足度を高めていくことが大切です。

そのためには、本プランがそれらの推進を下支えするプランとして、財源を創出するとともに、挑戦する意欲に溢れた職員の創出、効率的・効果的な組織体制の構築を推進する必要があります。

こうしたことから、本プランでは、

“しあわせ倍増”を支える、「高品質経営」市役所への転換

を目指すことにより、これらの実現を図ってまいります。

また、「高品質経営」市役所への転換には、「市民からみた高品質経営市役所」と「職員にとっての高品質経営市役所」の2つの側面からアプローチします。

① 市民からみた「高品質経営」市役所

新たな事業を着実に実施するとともに、市民の声を市政に着実に反映させ、市民が利用しやすいサービスを提供し、市民満足度が高い市役所

② 職員にとっての「高品質経営」市役所

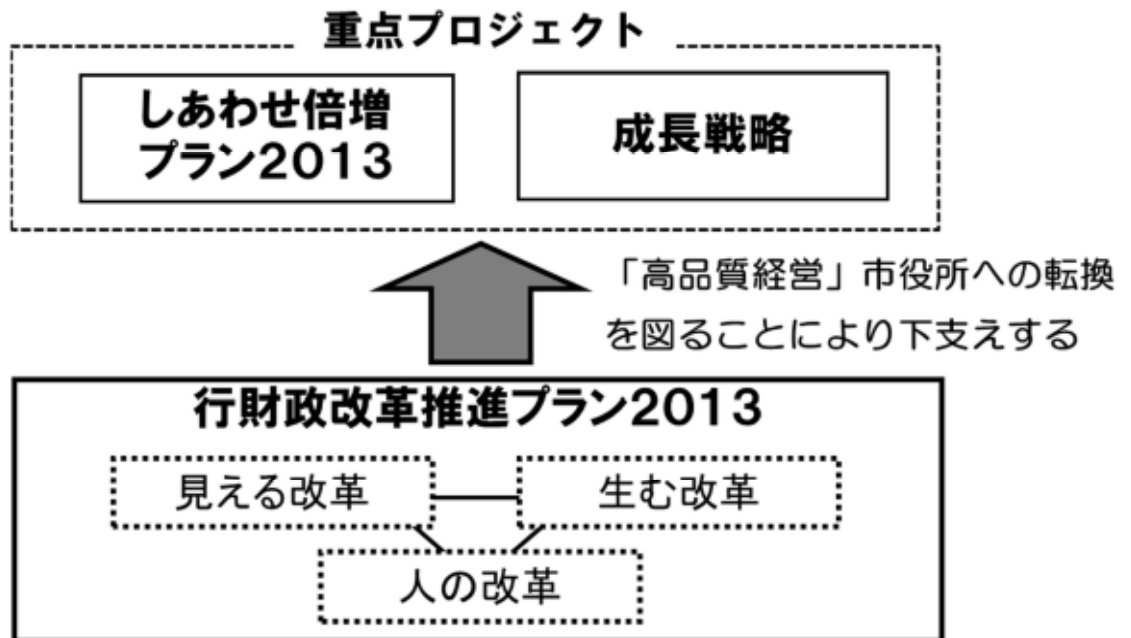
職員の質が高く、行政内部の無駄が徹底的に排除された、職員にとって働きがいのある、ワーク・ライフ・バランスが確保された市役所

⁷ しあわせ倍増プラン2013:「市民一人ひとりがしあわせを実感できる都市」を目指し、平成25年度から平成28年度までに、さいたま市が重点的に取り組むべき施策を盛り込んだ計画。

⁸ 成長戦略:今後急速に進行する少子高齢化や人口減少社会を迎える中、さいたま市が将来にわたり持続的成長と発展を続け、「企業・市民から選ばれる都市」を目指すための7つのプロジェクトの総称。

(2) 位置付け

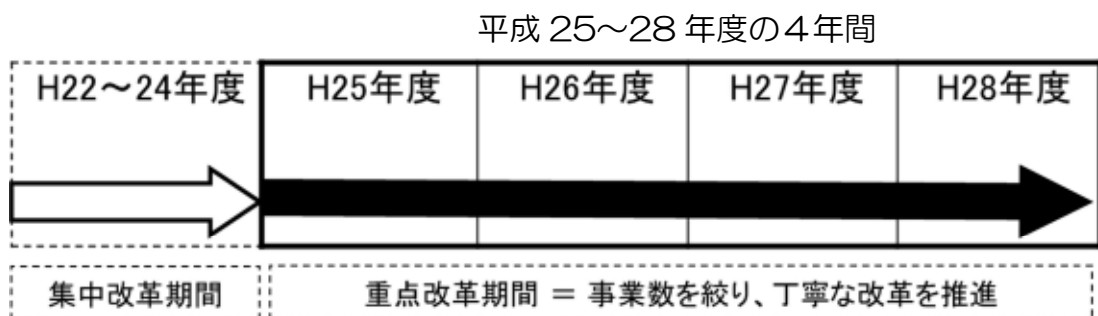
本プランは、主に「しあわせ倍増プラン 2013」及び「成長戦略」の推進を下支えするためのプランと位置付けます。



(3) 計画期間

本プランの計画期間は、平成 25 年度（2013 年度）から平成 28 年度（2016 年度）の 4 年間とし、「重点改革期間」と位置付けます。

前プランは「集中改革期間」として、192 の改革プログラム事業を掲げ、“全体的”な改革を実施してきました。本プランは、前プランにおいて築いた「改革の土台」の上に“重点的”な改革を実施します。



(4) 3つの基本目標

前プランにおいては、「見える改革」「生む改革」「人の改革」を3つの柱として基本目標に据え、改革に取り組んできました。

本プランにおいても、この3つを柱として、前プランにおいて築いた「改革の土台」の上に、事業を重点化し、切れ目のない改革に取り組むこととします。

① 見える改革 ～市民や企業とともに進める行政運営～

市政への市民参加の機会を充実し、市民の声を広く聴取するとともに、市民・事業者との情報共有のもとに、民間活力を徹底活用し、公民連携による事業を推進します。

また、市政運営の最前線である、区役所の窓口サービスの向上を図ります。

これらのことにより、市民目線に立った行政運営を実現し、市民満足度を高めます。

② 生む改革 ～しあわせ倍増を実現するための財源創出～

知恵と工夫を凝らして選択と集中を行い、健全な財政運営の維持に向けた歳出改革を推進するとともに、市税等の収納率の一層の向上や受益者負担の原則に基づく財源確保など、自主財源のより一層の確保を図ることで、しあわせ倍増を支える財源を創出します。

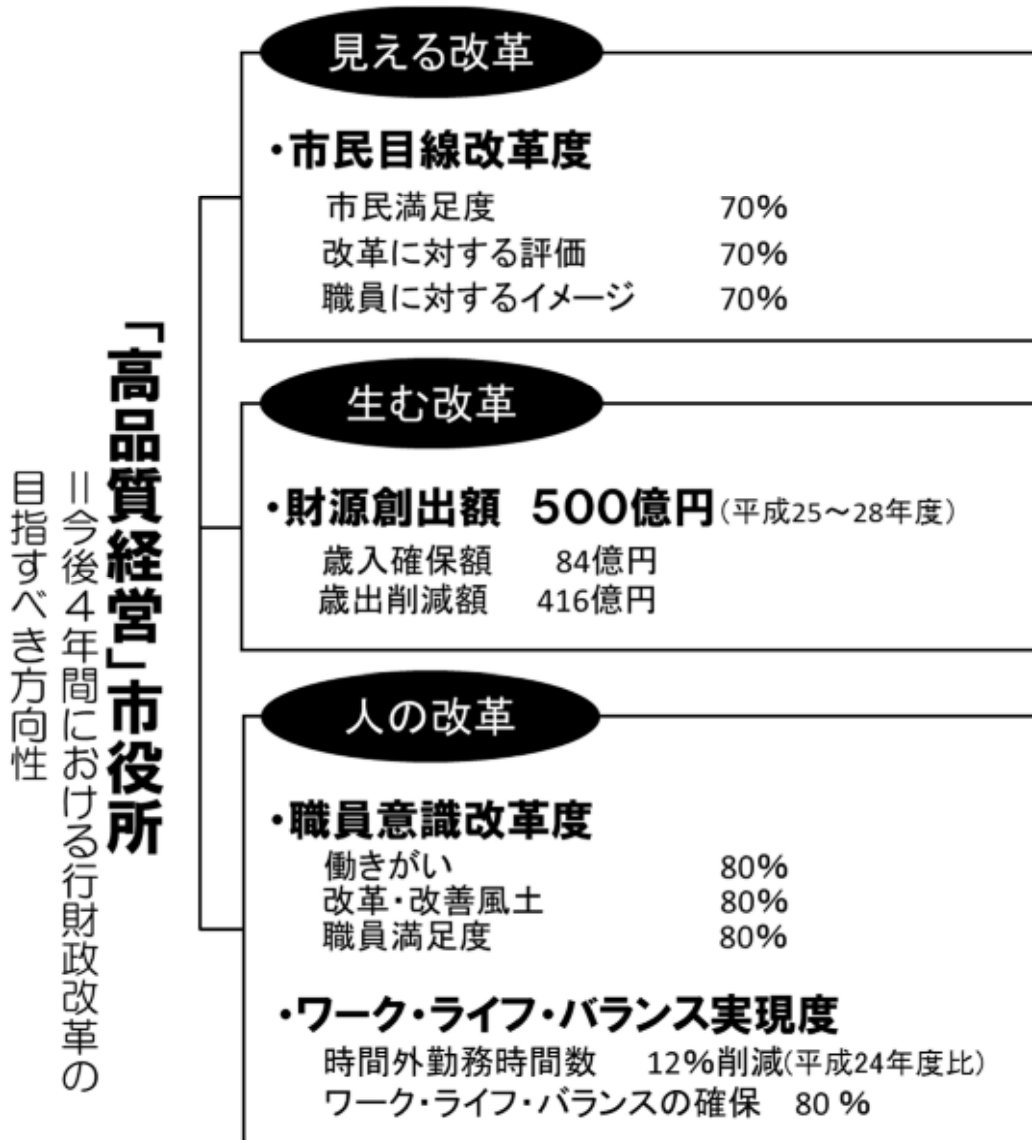
また、行政内部の無駄が徹底的に排除された、効率的・効果的な組織体制を構築します。

③ 人の改革 ～職員の意識改革・組織文化の創造～

本市の施策・サービスの質を高め、市民満足度の高い市役所を構築するため、職員の意識改革を一層推進することにより、常に市民の視点をもってより良いさいたま市を目指す、挑戦・改革意欲に溢れた職員を育成するとともに、日常的に改善・改革を実践する組織風土を醸成します。

また、職員が働きがいを持って意欲的に職務に精励するため、過度の時間外勤務を抑制し、ワーク・ライフ・バランスの一層の確保を図ります。

(5) 3つの柱における目標指標



① 見える改革

※ 市民目線改革度

毎年度実施する「さいたま市民意識調査」において、市民目線で本市における行財政改革の進展度を測ることができる項目として、以下の項目を設定し、それぞれ70%の市民から肯定的な評価を得ることを目標とします。

- ・市民満足度 70%

「さいたま市が行っている施策や事業について、現在どれくらい満足していますか」という設問に対し、「不満」、「その他」の2つの回答以外の割合。(平成25年度調査：60.9%)

• 改革に対する評価 70%

「市民の声や民間力の活用などにより、市民サービスの改善が図られるなど、市役所は変わってきたと思いますか」という設問に対し、「そう思う」、「ある程度そう思う」の2つの回答を合わせた割合。

(平成26年度調査：新設項目)

• 職員に対するイメージ 70%

「職員の窓口や電話対応などにおける接遇・対応などは、親切丁寧な対応に変わってきたと思いますか」という設問に対し、「そう思う」、「ある程度そう思う」という2つの回答を合わせた割合。

(平成26年度調査：新設項目)

② 生む改革

※ 財源創出目標 500億円

• 歳入確保額 84億円

市税等の収納率の一層の向上や受益者負担の原則に基づく財源確保などの歳入確保策により、4年間計で84億円の歳入増効果の達成を目標とします。

• 歳出削減額 416億円

コスト削減、人件費削減、委託の推進などの歳出削減策により、4年間計で416億円の削減効果の達成を目標とします。

③ 人の改革

※ 職員意識改革度

毎年度実施する「さいたま市職員の働きがいや職場環境等に関するアンケート」(以下「職員アンケート」という。)において、職員の意識改革や組織文化醸成の進展度を測ることができる項目として、以下の項目を設定し、それぞれ80%の職員から肯定的な回答を得ることを目標とします。

• 働きがい 80%

「現在、働きがいを感じていますか」という設問に対し、「強く感じている」、「少し感じている」の2つを合わせた割合。

(平成25年度調査：78.6%)

• 改革・改善風土 80%

「あなたの職場では、現状に満足することなく、常に仕事のやり方を見直すなど改革・改善の風土があると思いますか」という設問

に対し、「思う」、「少し思う」の2つを合わせた割合。

(平成25年度調査：74.6%)

・職員満足度 80%

「今の仕事に満足を感じていますか」という設問に対し、「強く感じている」、「少し感じている」の2つを合わせた割合。

(平成25年度調査：78.8%)

※ ワーク・ライフ・バランス実現度

職員の時間外勤務時間を縮減することで、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を持てて、かつ、健康で豊かな生活ができる、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の確保を目指します。そこで、この点に関する以下の2項目の達成を目標とします。

・時間外勤務時間数 12%削減（平成24年度比）

所属長のマネジメント強化や職員の意識改革による働き方の見直しなどにより、時間外勤務時間数を平成24年度比で12%削減します。

・ワーク・ライフ・バランスの確保 80%

職員アンケートにおいて、「あなた自身のワーク・ライフ・バランスはとれていると思いますか」という設問に対し、「思う」、「少し思う」の2つを合わせた割合。(平成25年度調査：69.2%)

(6) 実績評価・検証

本プランの実績評価、検証については、事業の進捗状況や成果を客観的に検証するため、市民や有識者等による外部評価を実施します。

外部評価については、計画2年目である平成26年度までの実績に基づく中間評価と、計画最終年度である平成28年度の達成見込みに基づく最終評価の2回を実施します。